

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	設計製図3	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	建築製図 基本の基本 学芸出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善						
担当教員情報							
担当教員	真田一穂、小池和仁、村田佑希、大嶋芳人、藤田大海			実務経験の有無・職種	有・建築設計		
学習目的							
設計製図3では、集合住宅の設計課題より、鉄筋コンクリート造（RC造）の建築物の設計に取り組み、設計のコンセプトの作成、プランニング、プレゼンテーションなどの総合的な手法・技術を演習を通じて習得することを学習目的とする。設計製図1、2より、規模が大きくなり、地域との関わりなど、敷地調査などによる広い範囲での設計力も身に付けてほしいと考える。							
到達目標							
設計製図3では、次の4点を到達目標とする。 ①RC造の製図記号や、図面作成方法を習得する。【作図スキル】 ②RC造図面を作図しながら図面同士の整合性を習得する。【図面理解スキル】 ③設計図より模型を制作し、RC造の柱・梁・壁の関係を3次元で習得する。【模型制作スキル】 ④課題に沿った設計力を習得する。【設計及びプレゼンスキル】							
授業概要	集合住宅の課題（RC造）に取り組み、建築設計のコンセプトの作成、プランニング、作図、発表等を通して建築物の設計方法全般を学ぶ。意匠・構造・設備の構成を知りながら、設計の基本およびそれぞれの意味や相互の関係を学ぶ。						
注意点	設計は広範にわたる建築分野の基礎をなす科目の一つである。授業時間中の指導、講義、作業に加えて、それ以外の時間での思考、検討、作業など個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	90%	課題作品を総合的に評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			RC造の設計課題の課題説明、敷地見学し、課題内容が理解する。			
2回	事例収集、敷地調査			設計課題の実例を収集したり、敷地を調査することで、課題内容が理解できる			
3回	エスキース作業①			設計課題のエスキースの方法を理解し作図できる。			
4回	エスキース作業②			設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。			
5回	各種図面作図等①			設計課題の平面図の作図方法を理解し作図できる。			
6回	各種図面作図等②			設計課題の断面図・立面図の作図方法を理解し作図できる。			
7回	撮影、プレゼンシート作成			模型写真の撮影方法、プレゼンテーションの方法を理解し作図できる。			
8回	プレゼンテーション			作品発表することでプレゼンテーションの方法を理解できる。			
9回	敷地調査			設計課題の実例を収集したり、敷地を調査することで、課題内容が理解できる			
10回	エスキース作業①			設計課題のエスキースの方法を理解し作図できる。			
11回	エスキース作業②			設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。			
12回	各種図面作図等①			設計課題の平面図の作図方法を理解し作図できる。			
13回	各種図面作図等②			設計課題の断面図・立面図の作図方法を理解し作図できる。			
14回	撮影、プレゼンシート作成			模型写真の撮影方法、プレゼンテーションの方法が理解できる。			
15回	クラス発表、全体発表			作品発表することでプレゼンテーションの方法が理解できる。			